

2023年

保護者向け情報シリーズ
Maryland州での特殊教育サービス:

コンパニオンガイドブック

代替教育フ レームワ ーク





はじめに

保護者情報シリーズは、Maryland州全体の特別支援教育サービス制度における家族の支援を目的とした出版物のコレクションです。この小冊子では、献身的な専門家のコミュニティに皆様をお迎えし、お子さんの成功をサポートし、ご家族を支援するために、連邦法および州法によって作られたプロセスをご案内したいと思います。

目次

4 ページ

代替教育フレームワークとは？

5 ページ

代替教育フレームワークへの子どもの参加資格はどのように判断されますか？

6 ページ

プロセスに対する親の同意

7 ページ

同意の決定後の選択肢と影響

8 ページ

代替教育フレームワークに参加する生徒の成果

9 ページ

保護者向けチェックリスト

10 ページ

用語集

詳しくはこちら

www.marylandpublicschools.org



代替教育フレームワーク とは何ですか？

特別支援教育の目的は、障害のあるすべての適格な子どもが、その固有のニーズを満たし、進学、就職、自立した生活に向けた適切な公教育 (FAPE) を無料で受けられるようにすることです。

すべての生徒が同じ学年の基準を持ち、高い期待に応えることが期待されていますが、法律は、最も重大な認知障害を持つ少数の生徒グループが、集中的な特別教育サービスを受けても、すべての生徒に適用されるのと同じ基準を達成できない可能性のあることを認めています。

このような生徒は、修正された基準を用いて指導および評価を行う必要があるかもしれません。これにより、学校スタッフは学年レベルの必須スキルに集中し、集中的な直接指導と反復練習を行うことができます。オルタネート・フレームワークを使用した指導の本質的な要素は、メリーランド州の「カレッジ・アンド・キャリア・レディ・スタンダード」に沿ったものですが、生徒が学年レベルのカリキュラムに進む前に重要な概念を学べるように修正されています。また、州レベルの評価は、他の生徒が評価される可能性のあるものに対して修正され、それほど複雑でない学年レベルの基準で生徒を評価するという点でも異なっています。

”

[子どもの] 教育プログラムは、その子の状況に照らして適切な野心的なものでなければならない。.....目標は異なるかもしれないが、どの子にも挑戦的な目標を達成するチャンスがあるはずだ」。

— Andrew F. v. Douglas County School Dist. _ U.S. _ (2017)



子どもは、どのように 代替教育フレームワークへの参加の資格が あると判断されるのですか？

代替教育フレームワークに参加する資格を得るためには、あなたを含む、お子さんの個別教育プログラム (IEP) チームが毎年この決定をします。IEPチームが、お子さんに重大な認知機能障害があるため、代替フレームワークに参加する資格があるのではないかと疑った場合、チームはIEPの一部として「付録 A」という文書を作成します。この文書では、以下の点に注目しています：

- 1 生徒は、特別に考案された指導とその他の支援を受けても一般的な基準を学習できないことを示す成績データを含むIEPを持っていますか？また
- 2 生徒には重大な認知機能障害がありますか？また
- 3 メリーランド州の大学と就職準備の基準 (英語 / 言語、数学、次世代科学基準) に準拠した生徒の学習内容は、生徒が進歩を遂げるために、学年レベルのカリキュラムに大幅な変更が加えられていますか？また
- 4 生徒は、調整され変更されたカリキュラムで測定可能な利益を達成するために、広範で直接的、個別的、反復的な指導と実質的な支援を必要としますか？





プロセスに対する親の同意

Maryland州では、変更されたカリキュラムへの参加と州の代替評価への参加には別々の同意が必要のため、保護者は2回署名を求められます。カリキュラムへの参加と評価、この2つの決定は、毎年、通常、お子さんの年次審査会議で行われます。

保護者は、これらが2つの独立した決定であることを理解しなければなりません。最初の決断は、お子さんが修正スタンダードに参加するかどうかで、お子さんが毎日何を学ぶかを決めることです。あなたの同意があれば、お子さんは学年基準の「必須要素」を学ぶ必要はありますが、その内容は変更されます。(下記の例を参照)。

2つ目の決定は、お子さんが州の代替評価に参加することに同意するかどうかということで、これも毎年行われます。

保護者は、これらの決定のいずれかまたは両方について、いつでも同意を取り消す権利を持っています。保護者が確信を持っていないなどの理由で決定を下さない場合、IEPチームは15暦日後にその決定を実施します。

5年生レベル基準

5年生標準の必須要素

歴史的、科学的、または技術的な文章に登場する2以上の個人、出来事、アイデア、または概念の関係もしくは相互作用を、文章中の特定の情報に基づいて説明することができる。

文章中の2つの個人、出来事またはアイデアを比較する

本質的な質問: 権利章典はどのように合衆国市民を保護しているのか? 生徒は、多様な利害を持つ個人が、連邦主義者と反連邦主義者の視点の出現にどのように貢献しているかを分析する;

Maryland州の権利宣言が、Daniel Carroll、Luther Martin、John Francis Mercerの承認をめぐる論争にどのような影響を与えたかを評価する;

憲法修正第1条から第10条の目的と重要性を確認する;

Maryland州および全米で、修正条項が現在どのように行使されているかを探る。

本質的な質問: 権利章典はどのように合衆国市民を保護しているのか? 生徒は、合衆国憲法修正条項の最初の10か条を読み、メリーランド州および全米で現在どのように行使されているかを探ります。



親の同意後の選択と影響

保護者は、子供が代替学力枠に参加することに同意する必要があります。もし保護者がノーと言うならば、その子どもは、IEPに記載された特別教育支援とサービスを受けながら、学年レベルの基準を変更しない一般的なカリキュラムを習得することになります。その子どもは、普通教育課程の生徒として、学校システムの方針に従って評価され、成績がつけられます。また、その子どもは、一般的な州の評価で許容される便宜や支援を用いて評価されます。

お子さんが修正学習基準および代替州評価に参加するには、別途同意が必要です。この2つの決定は一致することもあります。両親は一方に同意を与え、他方には与えないことも、両方に同意を与えることも、あるいは何も与えないことも選択できます。IEPチームが付録Aを記入し、子どもが代替教育フレームワークに参加する資格があると判断した場合でも、保護者がその同意を提供しないことを決定する場合があります。学校は引き続き、その子どもに無償で適切な公教育 (FAPE) を提供する義務を負います。FAPEを提供する唯一の方法は、生徒が代替フレームワークに参加することであると学校が判断した場合、紛争を解決するために、調停および／または適正手続審理を通じた正式な紛争解決手続きを利用しなければなりません。これは、連邦法および州法で義務付けられています。

同意書を提出するかどうかを決定する際、両親は次のことを念頭に置かなければなりません：

- 参加決定は毎年行われる；
- 両親は、いつでも同意を取り消すことができる；
- 参加決定は、クラス分け、学習環境、学校、プログラムを決定するものではない；
- しかし、代替フレームワーク (代替フレームワーク) への参加期間が長ければ長いほど、卒業証書を取得できる可能性は低くなる；
- 可能であれば、お子さんは引き続き卒業証書の取得を目指すことができる。



代替教育フレームワークに 参加する生徒の成果



すべての生徒が、それぞれの独自のニーズに合った厳密な指導を受けることが期待されています。代替教育フレームワークへの参加は、お子さんの特定の配置を決定するものではありません。これらはまったく別の決定であり、障害者教育法 (Individuals with Disabilities Education Act) (IDEA) の義務は、すべての生徒が可能な限り障害のない同級生と一緒に教育を受けることです。この義務は、重大な認知障害を持つ生徒にも同様に適用されます。代替教育フレームワークに参加しているからといって、別のプログラム、教室、または学校で教育を受ける必要はありません。ただし、お子さんの個別のニーズにより、普通教育の教室以外で指導を受ける必要がある場合はその限りではありません。

保護者は、小学校以降、子どもが授業と州評価のいずれか、または両方において、代替フレームワークに参加する期間が長ければ長いほど、高校に進学した後に卒業資格を得るために必要な単位を取得し、州評価に合格するために必要な、一般的な学年のカリキュラム基準を学習し、その学習状況を評価されることが難しくなることを理解しなければなりません。しかし、代替教育フレームワークに参加している生徒であれば、卒業証書の取得を目指すことをためらってはなりません。

卒業証書を取得できない可能性のある生徒には、Maryland 州のプログラム修了証書が授与されます。高い期待と計画により、そうした生徒の教育は、自立と成功をもってキャリアと地域生活に移行するための準備となります。



保護者向けチェックリスト

次の質問に「はい」と答えられますか？

そうでない場合は、お子さんのケースマネージャー、お子さんの管理者、学校システムのファミリー・サポート・コーディネーター、またはMSDEのファミリー・サポート・チームに連絡してください。

代替教育フレームワーク (The Alternate Education Framework)

- Maryland州における代替教育フレームワークへの参加資格が生徒にどのように決定されるかを理解していますか？
- 同意する権利とその結果について理解していますか？
- 意思決定プロセスにおける自分の役割を理解していますか？
- 子どもの教育計画を立てる際に、家族の関心事や優先事項を共有できることを知っていますか？
- 私は、子供が代替フレームワークに参加するために、毎年同意書を提出しなければならないことを理解していますか？
- 私は、私の決定に基づいて学校制度が取る可能性のある行動を理解していますか？
- 私は、子どもの代替フレームワークへの参加に関する私の決定がもたらす可能性のある結果を理解していますか？
- もし子どもが代替アカデミック・フレームワークへの参加資格があると判断された場合、その理由を理解していますか？



中等教育用語辞典

移行条件

Alternate Academic Framework

最も重大な認知障害を持つ生徒を対象とした指導と評価の両方を含みます。

Maryland大学およびキャリア準備基準 (Maryland College and Career Ready Standards) (MCCRS)

すべての生徒に明確で質の高い学業上の期待を提供する州全体の学年基準。

重大な認知障害

生徒の適応力、パフォーマンス、認知力、学習プロフィールを反映したデータの集大成。

必須要素

すべての生徒が高い学業成果を達成できるよう、MCCRSから導き出され、MCCRSに沿った学年到達基準。

付録A

生徒が代替教育枠組に参加する基準を満たしているかどうかを判断するために、チームが毎年記入するIEP用紙。

メリーランド州総合評価プログラム (Maryland Comprehensive Assessment Program) (MCAP)

Maryland州大学進学準備基準 (Maryland College and Career Ready Standards) の習熟に向けた生徒の進歩について、教育者、保護者、一般市民に情報を提供する州評価プログラム。



MARYLAND州教育省

Mohammed Choudhury

州教育長

Dr. Deann Collins

教育学習局副教育長

Clarence C. Crawford

Maryland州教育委員会会長

Maryland

知事

© 2023 Maryland State Department of Education

この出版物は、Maryland州教育省早期介入および特殊教育サービス部門によって米国からの資金提供を受けて作成されました。教育省、助成金 #H393A090124A、PL 105-17/111-5 障害者教育法/米国復興再投資法に基づく幼児および家族のための特別教育助成金「回復基金」。Maryland State Department of Education, Division of Early Intervention and Special Education Servicesは、州および地方機関および組織が調整する州全体のサービスおよび支援プログラムであるMaryland Infants and Toddlers Programの主任機関です。この出版物に含まれる情報をコピーまたは共有する使用者は、以下を著作権表記しなければなりません：メリーランド州教育省、早期介入および特殊教育サービス部門、Dr. Deann Collins、教育学習局副教育長。



410-767-0100



www.marylandpublicschools.org



200 West Baltimore Street
Baltimore, MD 21201-2595